

○人材育成講座 受講生の声

《講座の名称》工場長養成塾

《講座の概要》

生産・品質管理等を学ぶ「ゼミ」、模擬ラインを使って動作改善を学ぶ「実習」、塾生の工場にて問題発見と解決方法を探る「実践」、自社での改善活動に役立つポイントを探る「工場見学」などを通じて、製造現場での問題に気付く力を養い、自ら考え行動する工場長を育成する。

下村 豊氏(代表取締役社長)



○この講座を受講させたのは？

弊社は、1974年に名古屋市南区にて創業し、1988年に現在の場所に本社工場を移転しました。現在では、国内4工場において、自動車の足回りに不可欠な「等速ジョイント」・「ハブベアリング」や、「産業・精密機械の部品」などを製造しております。会社設立当初に比べて、工場増設などを進めたこともあり、従業員数も10年前の約5倍になりました。こうした状況の中では、人材確保と並び人材育成が喫緊の課題となっております。

そうした課題に対して、弊社では、社内教育とともに、そこで補えない部分を外部の講座や研修などを活用しながら人材育成を進めておりますが、特に将来の幹部候補となる人材を早急に育成する必要がありました。そうしたところで、弊社の取引金融機関よりこの講座を紹介してもらい、平成18年度の経済産業省の委託事業での実証講座の実績や評判も伺い、平成19年度から毎年必ず受講者を送り出すようになりました。

○この講座の特徴や良いところは？

現場で生きる数々の知識を得るゼミ(座学)だけでなく、改善の効果を自らの手で習得する実習、受講者がグループに分かれて、グループ内企業の現場においての問題提起と解決法を探る実践教育や工場見学など幅広いカリキュラムであるほか、受講者を送り出した企業のトップが別カリキュラムの経営の立場でモノづくりを考えるエグゼクティブ・プログラムがあり、受講者だけでなく、企業トップが参加できるプログラム構成になっており、これだけ充実した内容の講座はないと思います。

○受講させて会社として良かったところは？

座学のみならず、実践的な内容がとても充実した講座であり、異業種の製造現場を見て問題提起や課題解決策を異業種の受講者とディスカッションすることを通じて、幅広い知識や柔軟な発想力などに繋がっており、その経験が業務改善などに活かされていると感じており、このカリキュラムは、中堅層人材の底上げには、非常に効果的な講座と感じています。

★受講生の声

武田正宣氏(19年度受講生:取締役 管理本部 本部長)



前職で建設業の仕事をしており、製造現場については素人でしたが、入社後の早い時期に、受講し、製造現場全般がどのようなものかを知ることができて良かったと思います。自社の研修だけでは、これほど早く製造現場のことが理解できなかったでしょうし、この経験が今活きていると思います。現場における実践においても、真剣に取り組める雰囲気があり、グループの担当でした(株)豊田自動織機OBのチューターからきめ細い指導がとても良かったと思います。本気モードで講座に取り組めて、とても有意義な勉強ができました。

宮崎 卓夫氏(20年度受講生:海外事業本部 設備企画部 副部長)



講座の中で、グループのメンバーと共に自職場の改善を実施すると言う『現場実践』があります。いろいろな業種の受講者が様々な視点での改善提案をだし実践していきます。具体的な実践成果として、これまで切削処理作業は2名の作業員が必要とされていましたが、作業者の『動線分析』や『作業手順分析』を行う事で1名の作業員で出来る方法を見つけ、標準作業化することで1名化を達成しました。このように、自分自身の成長だけでなく、自社の現場についても目に見える形で効果を得る事が出来ました。

《受講企業の概要》

高雄工業株式会社

愛知県弥富市楠三丁目13番地2

TEL0584-64-5061

<http://www.takao-net.co.jp/index.html>

